

100年先も安心・安定の水道水を届けるために

問い合わせ 水道温泉課 ☎0557(86)6484

熱海市では、50年、100年先も皆さんが安心して飲める水道水をお届けできるように「安全」「強靱」「持続」を兼ね備えた水道事業を目指しています。今回は、市の水道施設の現状についてお伝えします。

●市の水道管の老朽化と耐震化

老朽化した水道管を地震などの災害に強い水道管(耐震管)に取り替える工事を重点的に進めています(グラフ①)。

それにもかかわらず、現在の市内の水道管は古く、40年の法定耐用年数(※1)を経過したものが多く状態(グラフ②)。

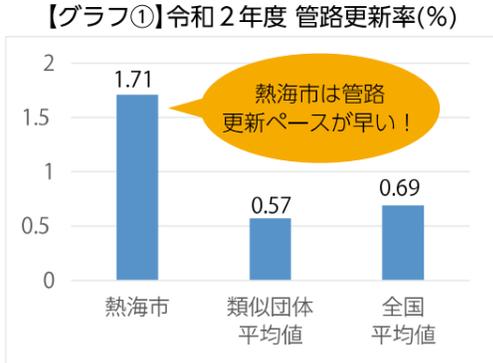
これは、市の水道の歴史が古く、全国で7番目に創設した歴史ある事業であるとともに、高度経済成長期に集中して新しく設置や、取り替えをした水道管があるためです。

今後も、経営状況をみながら管路更新(水道管の取り替えなど)を計画的に進めていく必要があります。

※1 法定耐用年数=法令で定められている通常使用可能な期間

●グラフ① 管路更新率

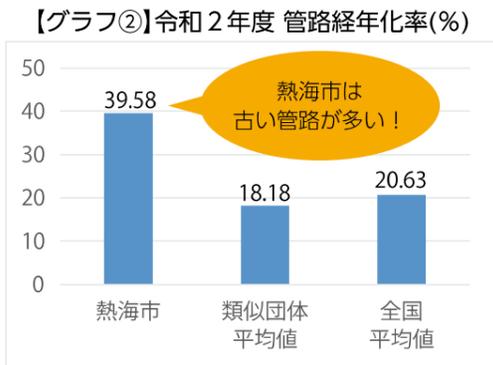
令和2年度中に更新した水道管の長さの割合を表しています。市内すべての水道管を更新するために40年かかった場合、その割合は2.5%となり、割合が高いほど更新ペースが早いといえます。



※2 給水人口が熱海市と同規模の自治体類似団体との比較により、市の特徴を把握することができます

●グラフ② 管路経年化率

令和2年度現在の法定耐用年数(40年)を超えた水道管の長さの割合を表しており、水道管の老朽化度合いを示します。



のポンプの運転が必要であるため、多くの動力費がかかってまいります。

●人口減少に併せて 水道施設も適正な数に

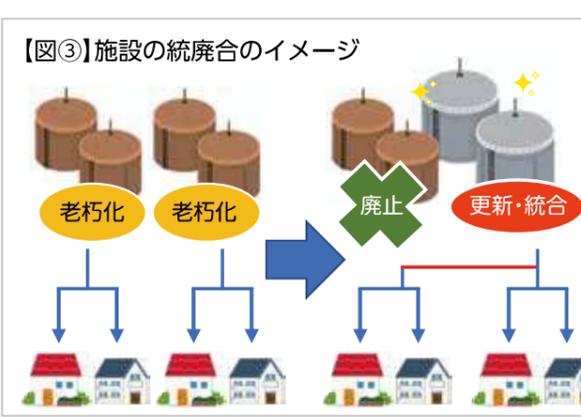
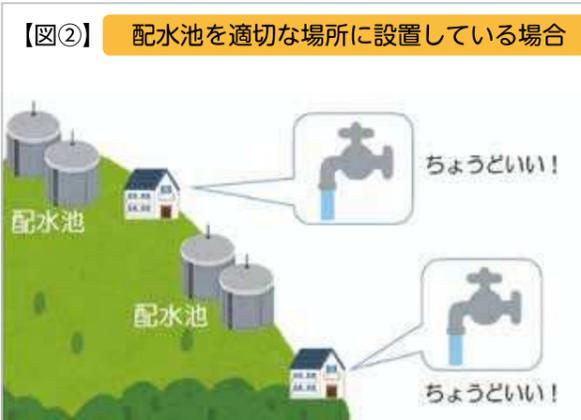
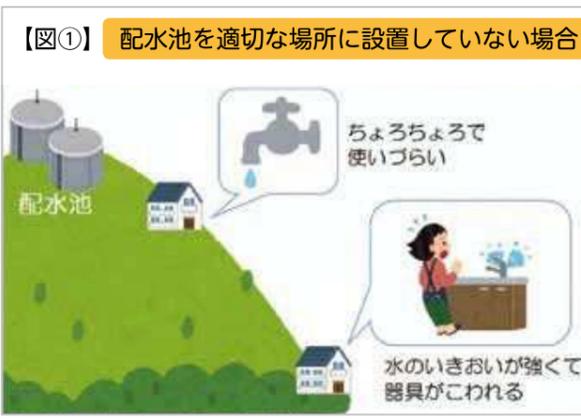
少子高齢化による給水人口の減少や節水機器の普及に伴い、市の給水量(水の使用量は減っています。

市では、配水池の更新を進めていますが、今後も減少していく給水人口を見越して配水池を更新する際は施設の統廃合や規模を小さくするなど、先を見通した適正化に努めています(図③)。

全国的にも老朽化した施設の更新や耐震化は重要課題とされている中、近年では世界情勢による材料費高騰や電気料金などの値上げ、また全国的な人口減少など、厳しい状況が続いています。このような中でも、水道施設の更新・耐震化は計画的に実施していく必要があります。

市では、計画的かつ継続的に施設更新を進めているため、市内各所で工事を施工しています。

工事中は皆さんに大変なご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



利用できるスマートフォンアプリ

| |
|------------------------------------|
| PayPay 請求書払い (PayPay 残高から支払い) |
| LINE Pay 請求書支払い (LINE Pay 残高から支払い) |
| au PAY 請求書支払い (au PAY 残高から支払い) |
| d払い 請求書払い (d払い残高から支払い) |
| J-Coin 請求書払い (コイン残高から支払い) |

※詳細は各アプリの公式サイトをご確認ください

利用できるスマートフォンアプリ

スマートフォンの印字がないもの。
納付書1枚あたりの金額が30万円を超えるもの。
金額を訂正したもの。手書きのもの。
納期限またはコンビニ利用期限が過ぎているもの。
バーコード部分が汚損などにより読み取れないもの。
利用にあたっての注意点
領収書は発行されません。アプリ内の取引履歴にてご確認ください。また領収書が必要な場合は、金融機関窓口またはコンビニエンスストアなどで現金納付をしてください。
支払手続きの完了後は取り消しが出来ません。
二重納付にご注意ください。

